

全国農政連推薦・県農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも **百姓宣言**

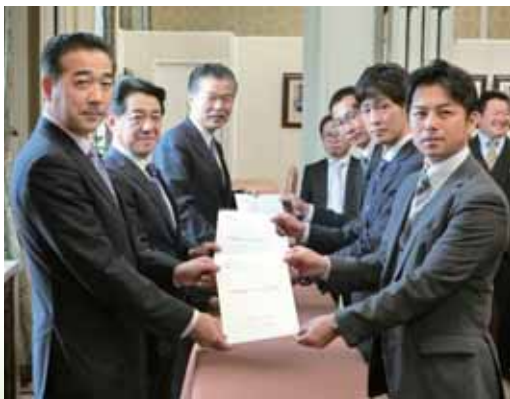
「地域を支える若き力を実感」

【全国制覇（JA全国青年大会）】

2月19日から20日の二日間で開催されたJA全国青年大会に駆けつけました。今回は、「JA青年の主張」においてJA鹿本青年部の横田大輔さんが全国制覇となる最優秀賞を受賞しました。幼い頃に抱いていた農業へのマイナスイメージや抵抗感が、就農して青年部に入り、仲間と助け合い、切磋琢磨していく中で徐々に意識が変化してくエピソードは、多くの盟友が共感したと思います。生産拡大や雇用確保、法人化を目標に掲げる一方、地域の後継者を育成し、地域全体を盛り上げていくという展望も持ちます。今後、農業を、地域をリードする担い手として、大いにその手腕を発揮していただきたいと思います。熊本県勢では久しぶりの全国制覇。私だけでなく県内若手農業者にも大きな励みとなることでしょう。おめでとうございました！

【現場の課題、浮き彫りに】

この間、各地域を歩き意見交換をする中で、農業経営は依然として厳しい環境にあることを痛感しています。特に、資材価格の低減に向けた努力が続



▲JAかみましき青壮年部からの要請と農業情勢の意見交換

いているものの、輸送経費の高騰をはじめ経費全体が増加しているため、所得の向上には繋がっていない実情があります。しっかりと農畜産物の販売単価そのものを経営の実態に合わせて上げていく努力をしなければなりません。また、足元の人材不足も深刻です。今年4月から新たな在留資格創設による農業分野での外国人雇用が始まりますが、現場への制度周知や具体的な情報提供はこれからというのが実情です。農業分野での外国人材のニーズが非常に高いものがあります。

当選以後、小規模経営や家族経営の必要性、地域や気候風土に適応した多様な農業の重要性を主張してきました。少しずつではありますが、施策の考え方に反映されるようになりました。すぐに解決できない現場の課題は山積していますが、政策的な支援に繋がっていくように頑張ります。

全国・県農政連推薦

参議院議員山田としおの

【**農政問題**に斬り込む

全国を飛び回っています

(その2)

【党大会で公認証をいただきました】

3月号の記事で「全国を飛び回っています」と報告してから、1か月経ちます。この間も全国を飛び回り続けており、山口、千葉を再訪するとともに、神奈川、香川、福岡など多くの県のJAを訪ねました。また、2月10日の党大会に出席し、安倍総裁から公認証をいただきました。

JA訪問のほかにも、岐阜、福島、栃木、鹿児島総会、そして熊本県農政連のリーダー研修会に出席させていただきました。改めて、貴重な機会を設けていただいた皆さんには、感謝申し上げます。

【まずは、励ましが大切。総理、「美しい日本」に戻りましょう】

私は、国の農政展開についても、もっと励ますことを言つことが大切だと思えます。もちろん、具体的な政策を提示することが一番大事です。しかし、それ無しに、「規模拡大が進んでいない」「JAが農業生産振興に熱心でない」等々の批判ばかりが横行するのは、良い方向に進みません。

安倍総理は、「美しい日本」を主唱

され、「息を飲むほど美しい田園風景、世界に誇るべき国柄、伝統、農村文化、私は日本の農業と食を守ります」と仰って登場されました。それがいつの間にか、「既得権益の岩盤を打ち破る」「いかなる既得権益も私のドリルから無傷ではいられない」と一転してしまいました。

改めて、「自然と共に働き甲斐のある農業」「美しい景観の中でゆとりのある人生」「おいしい食の喜び」等々、励ます言葉は一杯あるはずですが。総理には、もう一度、「美しい日本」の世界に戻り、農業者を農村をそしてJAを励ましてもらいたい。そのために、まずは、「既得権益の岩盤を打ち破る」だけを主唱する規制改革推進会議を抜本改革すべきなのです。



▶自民党大会で、公認候補者として登壇